

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月03日

計画の名称	むつ市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	むつ市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	832	A	832	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	むつ処理区の平成28年度当初における普及率9.0%を平成31年度末で17.0%に向上させる。 下水道区域内普及率 むつ処理区 下水道処理人口(人)/下水道区域内行政人口(人)	9%	14%	17%
2	大畑処理区の平成28年度当初における普及率60.0%を平成31年度末で62.4%に向上させる。 下水道区域内普及率 大畑処理区 下水道処理人口(人)/下水道区域内行政人口(人)	60%	62%	62%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	むつ市	直接	むつ市	管渠(汚水)	新設	むつ処理区新町下北幹線(汚水)A-1	汚水管 200mm L=100m	むつ市						38	-	
	A07-002	下水道	一般	むつ市	直接	むつ市	管渠(汚水)	新設	むつ処理区中央幹線(汚水)A-2	汚水管 250mm L=450m	むつ市						86	-	
	A07-003	下水道	一般	むつ市	直接	むつ市	管渠(汚水)	新設	むつ処理区下北町地区枝線整備A-4	汚水管 200mm L=490m	むつ市						66	-	
	A07-004	下水道	一般	むつ市	直接	むつ市	管渠(汚水)	新設	むつ処理区柳町地区枝線整備A-5	汚水管 75~200mm L=370m	むつ市						98	-	
	A07-005	下水道	一般	むつ市	直接	むつ市	管渠(汚水)	新設	むつ処理区海老川昭和町地区枝線整備A-6	汚水管 200mm L=810m	むつ市						202	-	
	A07-006	下水道	一般	むつ市	直接	むつ市	管渠(汚水)	新設	むつ処理区中央地区枝線整備A-8	汚水管 200mm L=780m	むつ市						77	-	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
むつ市下水道部下水道課による評価を実施	令和2年10月
	公表の方法
	むつ市HPにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度末までにむつ処理区で.67.6haの整備を行い普及率が17.0%に増加し、また、大畑処理区で5.3haの整備を行い普及率が62.4%に増加した。このことにより未普及地域の解消が図られた。 効率的な面整備ができる区域まで幹線整備を進めることができたため、今後、面整備による普及率の拡大が見込める。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> 整備区域の生活環境の改善とトイレの水洗化の促進に寄与することができた。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> 陸奥湾水域流域別下水道整備総合計画や県汚水処理構想等の達成に向け、むつ処理区の普及促進を進める。 限られた財源の中で、先行して整備する地域を選定し、効率的に面整備を進める。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口（人） / 下水道区域内行政人口（人）	
	最終目標値	17%
	最終実績値	17%
2	下水道処理人口（人） / 下水道区域内行政人口（人）	
	最終目標値	62%
	最終実績値	62%